

ホームページのご案内

当社のHPでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスして下さい。

URL:<http://www.ikco.co.jp/>



株式会社アイケイコーポレーション

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
TEL03-6803-8811 FAX03-3409-5050

株主の皆様へ

第10期 株主通信

2007年9月1日～2008年8月31日



株式会社アイケイコーポレーション

株主の皆様の声をお聞かせ下さい

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答下さい。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3377**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索して下さい。



空メールにより URL自動返信 kabu@wjim.jpへ空メールを送信して下さい。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



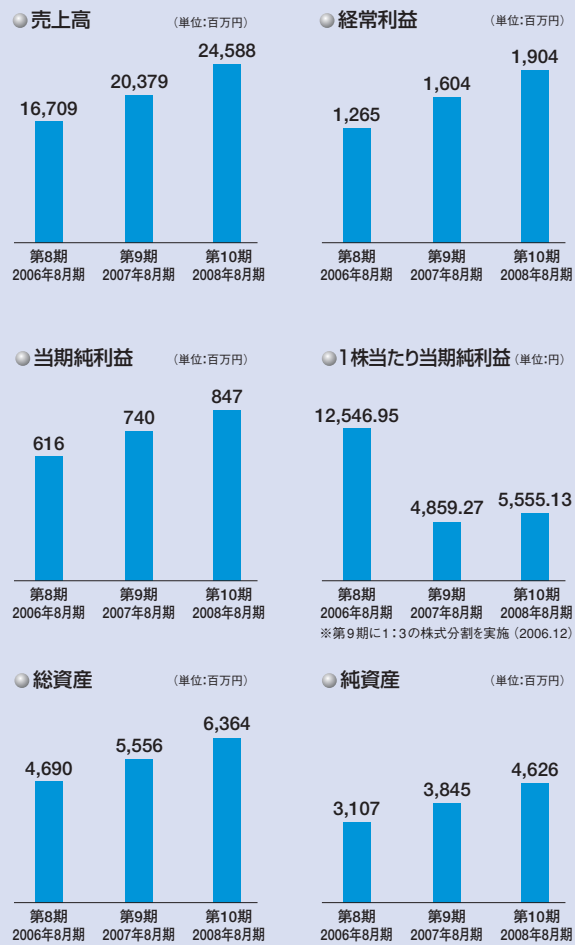
※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00～17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com





● 連結財務ハイライト ●



代表取締役社長 加藤 義博
取締役会長 石川 秋彦

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、第10期(2008年8月期)において、オートバイ買取専門店「バイク王」をコアブランドに位置づけ、従来から推進しております積極的な広告展開と多店舗展開による「バイク王」の認知度・信用力向上に努めてまいりました。この結果、取扱台数が増加するとともに、一台当たりの売上単価・平均粗利額も上昇し、売上高、営業利益、および経常利益は順調に推移いたしました。なお、子会社「株式会社アイケイモーターサイクル」におけるオー

トバイ小売販売が当初計画を下回る進捗となったことから、のれんをはじめとする減損損失を計上しており、当該子会社については、業務の効率化・合理化を図り、経営体質の強化、業績の安定化を図る目的で、2008年6月1日付にて当社に吸収合併いたしました。さらに、買取販売とのシナジー効果の追求を目的に、新ブランド「バイク王ダイレクトSHOP」を立ち上げ、2店舗を新規出店しております。子会社「株式会社パーク王」にて展開するオートバイ駐車場事業においては、収益の向上を念頭に置いた事業展開に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高24,588,896千円(前年同期比20.7%増)、営業利益1,864,008千円(同18.4%増)、経常利益1,904,803千円(同18.7%増)、当期純利益847,869千円(同14.6%増)となり、増収増益を達成しました。

次期の見通しについて

第11期(2009年8月期)につきましては、増収増益を前提としたうえで、各事業の効率化とインフラ整備を進めてまいります。まず、「バイク王」の重点施策として、広告戦略の最適化、店舗当たりの取扱台数増加、労務環境の改善を図ります。また、販売台数は、第10期のトレンドを維持しながらも小売販売への在庫強化を考慮し、当期実績とほぼ同様の約15,000台の増加となる161,000台を見込んでおります。店舗展開は、15店舗の新規出店を行うとともに、エリア重複店舗、非効率店舗6店舗の閉鎖を行ったうえで、目標に掲げております「バイク王100店舗計画」を達成する予定です。

小売販売につきましては、ブランドを「バイク王ダイレクトSHOP」に統合し、バイク王とのシナジー効果を追求してまいります。加えて、店舗の大型化、排気量構成・商品ラインナップの充実およびこれを補完する迅速な商品供給体制の構築等を推進してまいります。これらの施策により、既存2店舗の移転をとまなう統合、1店舗の移転を行う予定です。

なお、第11期は、第10期同様、業績の下期偏重を見込んでおりますが、第11期においては小売販売用の品揃えを厚くすることから、オークションにおける販売台数が一時的に減少する予定であり、従来に増して業績の下期偏重が見られる予定です。

利益配分方針ならびにメッセージ

第11期の配当金につきましては、当社の財務状況および業績見通しを総合的に勘案し、株主の皆様のご期待にお応えすることからも、1株当たり中間配当600円、期末配当600円をそれぞれ予定しております。

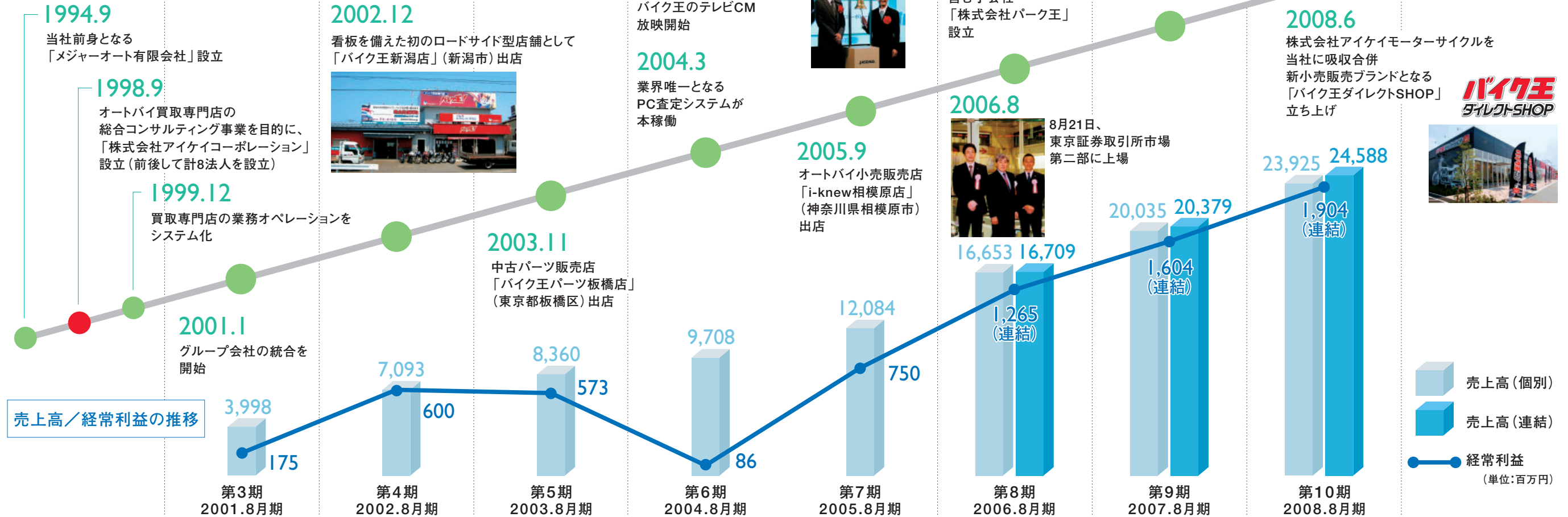
	第8期	第9期	第10期	第11期(予想)
中間	—	—	400円	600円
期末	600円	300円	400円	600円
合計	600円	300円	800円	1,200円

※第9期に1:3の株式分割を実施(2006.12)

当社は、今後もコーポレートガバナンスの強化と企業価値の最大化に向け、邁進してまいります。株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

当社は、当期で第10期を迎えました。
今後も買収実績ナンバーワン※のリーディングカンパニーとして、リユース・リサイクルに基づいた循環型社会への貢献、当社独自サービスの創出に取り組むことで、オートバイ業界に新たな風を吹き込みます。

※株式会社矢野経済研究所 日本アフターマーケット総覧2007年度版



1994.9

当社前身となる「メジャーオート有限会社」設立

1998.9

オートバイ買取専門店の総合コンサルティング事業を目的に、「株式会社アイケイコーポレーション」設立 (前後して計8法人を設立)

1999.12

買取専門店の業務オペレーションをシステム化

2001.1

グループ会社の統合を開始

2002.12

看板を備えた初のロードサイド型店舗として「バイク王新潟店」(新潟市) 出店



2003.11

中古パーツ販売店「バイク王パーツ板橋店」(東京都板橋区) 出店

2004.2

バイク王のテレビCM放映開始

2004.3

業界唯一となるPC査定システムが本稼働

2005.6

6月30日、ジャスダック証券取引所に上場



2005.9

オートバイ小売販売店「i-knew相模原店」(神奈川県相模原市) 出店

2006.3

オートバイ駐車場事業を営む子会社「株式会社パーク王」設立

2006.8

8月21日、東京証券取引所市場第二部に上場



2007.2

オートバイ小売販売を営む子会社「株式会社アイケイモーターサイクル」設立
株式会社テクノスポーツより事業を譲り受け、4月より「テクノスポーツ」7店舗の営業開始

2008.6

株式会社アイケイモーターサイクルを当社に吸収合併
新小売販売ブランドとなる「バイク王ダイレクトSHOP」立ち上げ



買取実績 **No.1** ※のオートバイ買取専門店 **バイク王**

全国の各店舗からお客様のご自宅へ、ご指定の時間に専門の査定員が直行する無料出張買取。独自開発のITシステム「i-kiss」に支えられた全国統一の査定基準による明瞭かつ適正な買取価格の提示。トラブルのない現金決済。当社は、常にオートバイユーザーの立場で考え、その利便性を徹底的に追求してまいりました。お客様本位のサービスをお届けし、ユーザーに信頼され選ばれるブランドであるべく、スタッフ一丸となって日々の業務に取り組んでいます。

※株式会社矢野経済研究所 日本アフターマーケット総覧2007年度版

ココがポイント!

バイク王の強み

24時間365日受付

コールセンターにおける24時間年中無休の電話受付。「今すぐ」という要望にもクイックレスポンスでお応えします。



無料出張買取

十分な商品知識と接客マナーの教育を受けた査定員が、パソコンを使用して査定。ご成約の場合、その場で現金決済し、買取証明書を発行します。



手続き無料代行

名義変更、廃車手続きなどの代行、ローンの残債処理など、売却時に発生する面倒な手続きもトータルにサポートしています。



バイク王 100店舗計画を推進

100店舗体制の実現に向け、買取拠点の全国展開を進めています。出張買取の拠点としての機能のほか、視認性を高めた店舗づくりにより、信頼される買取専門店のオンリーワン・ブランドとして着実に成長を遂げています。



小売販売店

バイク王 ダイレクトSHOP

新たな小売ブランドとして2008年に「バイク王ダイレクトSHOP」を立ち上げました。6月には初号店となる「バイク王ダイレクトSHOP名古屋みなと店」(名古屋市港区)が、7月には「バイク王ダイレクトSHOP GLOBO蘇我店」(千葉市中央区)がオープン。

「バイク王」のブランド力・スケールメリットを最大限に活かした同ブランドは、市場動向を加味したリーズナブルな価格、高品質なサービスの提供を通じ、当社とユーザーをダイレクトに結びオートバイショップを目指します。



オートバイ駐車場

BIKE PARKING パーク王

都市圏展開のオートバイ駐車場。慢性的な駐車場不足、違法駐車による渋滞など、ライダーと地域社会が抱える問題を解消するため、社会貢献に取り組む事業として日々その設置箇所を増やしています。



パーツ販売

バイク王! パーツ

「バイク王」直営のパーツ販売店。店頭販売に加え、インターネット販売にも注力しています。中古はもちろん、新品、アウトレット商品まで豊富な品揃えでお客様のニーズにお応えします。

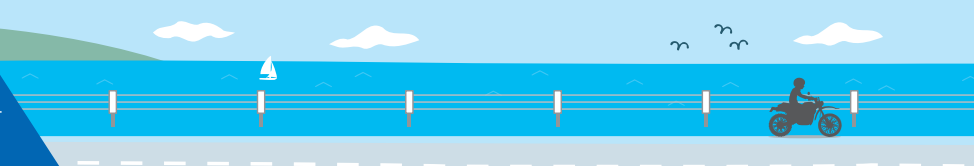


海外取引

moto-ik

各国のニーズに応じた、海外マーケットでのビジネスを模索し、新たな販路の開拓に努めています。





事業の効率化とインフラ整備

販売台数(買取)



約15,000台増
2008年8月期実績を維持

重点施策

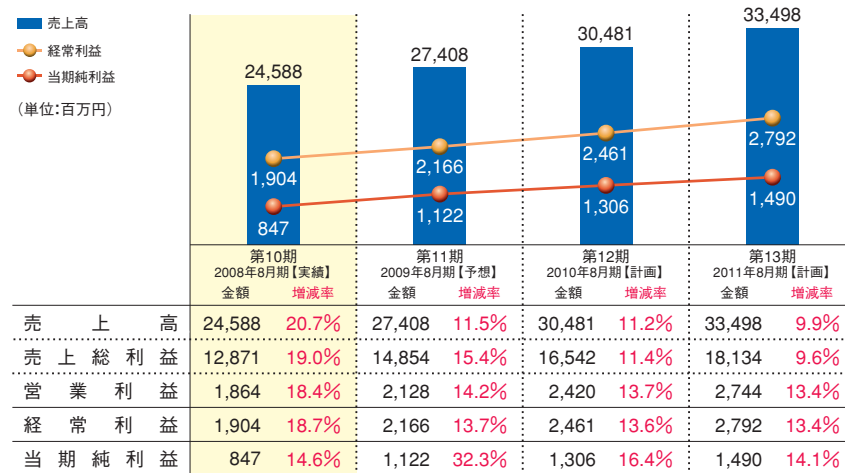


- 広告戦略の最適化 CPR※の改善等
 - 店舗当たりの取扱台数増加 店舗別損益を念頭に、経営効率重視へ
 - 労務環境の改善 店舗回りの人員数の補強・労務管理の向上
- ※CPR:コスト・パー・レスポンスの略。お問合せ1件当たりの広告宣伝費



小売販売の改善
バイク王ブランドの活用・店舗パッケージの確立・商品供給体制の構築

当社グループは、リユースの視点に基づく中古オートバイ買取販売事業を展開してまいりました。
今後につきましても、コアブランド「バイク王」を中心に、第11期の重点施策である「事業の効率化とインフラ整備」を基本方針とし、三カ年の展開を図ってまいります。
また上記に加え、新規事業の確立を進め、ビジョンとして掲げる「オートバイライフの総合プランナー」の実現を図るべく、「買取販売を中心とする事業の形成」に努めてまいります。



当社は、オートバイ市場の活性化、リユース・リサイクルに基づいた循環型社会への貢献を目的に、様々な活動を行っています。

1 「チャレンジ三宅島モーターサイクルフェスティバル」へ参加しました。

噴火災害から復興途上にある東京都三宅島の復興・振興を目的としたオートバイイベントが開催され、当社もメインスポンサーとして参加しました。
イベントでは、オリジナルグッズの配布やテントの寄贈をはじめ、走行中にトラブルが生じたオートバイの引き上げ作業等、様々な活動を通し、イベントを盛り上げました。
2回目となる今年は、昨年フェスティバルを大いに沸かせた「全日本ドラッグレース選手権」のスポンサーとしても参加。三宅島島民はもちろん、参加者である一般ライダーにも温かく迎えられました。



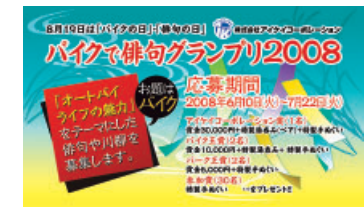
2 バイク王 Presents 「えぼしのこころ'08」へ参加しました。

環境保全と「人種・性別・年齢」を超えたコミュニケーションの構築を目的に、茅ヶ崎・ヘッドランドビーチ(神奈川県)で開催されたエコイベント「えぼしのこころ'08」に参加しました。
当日は、新卒内定者を中心としたビーチクリーン活動のほか、エコバッグの配布、「環境」をテーマとしたトークセッションが催され、多くの参加者の関心を集めていました。



3 「バイクで俳句グランプリ2008」を開催しました。

当社は、オートバイの楽しさ・快適さの訴求をテーマに、8月19日を「バイクの日」と位置づけた「バイクで俳句グランプリ2008」を開催。オートバイライフの魅力をテーマに、俳句と川柳を募りました。応募総数2,337通の中より、当社社名・ブランド名を冠した受賞句を選句。当社HPやメディア媒体で発表したほか、受賞者・参加者には、賞金とオリジナルグッズを贈呈しました。



連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	第9期 (2007年8月31日現在)	第10期 (2008年8月31日現在)
●資産の部		
流動資産	3,740,225	4,674,345
現金及び預金	2,646,758	3,609,602
売掛金	109,590	103,197
たな卸資産	584,144	607,251
前払費用	230,086	240,828
繰延税金資産	66,842	59,763
その他	104,873	53,776
貸倒引当金	△2,070	△73
固定資産	1,816,064	1,689,881
有形固定資産	826,321	863,401
建物及び構築物	580,802	628,968
車両運搬具	89,062	90,224
その他	110,087	82,664
建設仮勘定	46,368	61,544
無形固定資産	533,481	196,899
のれん	251,067	—
ソフトウェア	268,357	171,756
その他	14,055	25,142
投資その他の資産	456,261	629,580
繰延税金資産	23,283	124,840
敷金・保証金	422,053	501,732
その他	10,924	8,007
貸倒引当金	—	△5,000
資産合計	5,556,289	6,364,227

科目	第9期 (2007年8月31日現在)	第10期 (2008年8月31日現在)
●負債の部		
流動負債	1,620,341	1,672,737
買掛金	69,861	100,380
短期借入金	100,000	220,000
1年以内返済予定の長期借入金	24,000	24,000
未払金	516,334	493,503
未払法人税等	624,501	472,327
その他	285,643	362,525
固定負債	90,879	65,353
長期借入金	22,000	—
その他	68,879	65,353
負債合計	1,711,220	1,738,091
●純資産の部		
株主資本	3,815,443	4,558,752
資本金	584,534	585,650
資本剰余金	604,156	605,272
利益剰余金	2,626,751	3,367,829
新株予約権	29,625	67,383
純資産合計	3,845,068	4,626,136
負債・純資産合計	5,556,289	6,364,227

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第9期 (2006年9月1日から 2007年8月31日まで)	第10期 (2007年9月1日から 2008年8月31日まで)
売上高	20,379,968	24,588,896
売上原価	9,563,845	11,717,608
売上総利益	10,816,122	12,871,288
販売費及び一般管理費	9,241,900	11,007,280
営業利益	1,574,222	1,864,008
営業外収益	32,795	64,021
営業外費用	2,501	23,225
経常利益	1,604,516	1,904,803
特別利益	4,837	540
特別損失	56,886	364,868
税金等調整前当期純利益	1,552,467	1,540,476
法人税、住民税及び事業税	810,828	787,084
法人税等調整額	5,169	△94,477
少数株主損失	3,700	—
当期純利益	740,169	847,869

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第9期 (2006年9月1日から 2007年8月31日まで)	第10期 (2007年9月1日から 2008年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,213,733	1,480,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△958,422	△494,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,131	△22,694
現金及び現金同等物の増減額	296,442	962,843
現金及び現金同等物の期首残高	2,350,316	2,646,758
現金及び現金同等物の期末残高	2,646,758	3,609,602

■事業の種類別セグメント情報

(単位:千円)

	中古オートバイ 買取販売事業	オートバイ 駐車場事業	消去又は 全社	合計
→売上高	24,373,117	216,139	△360	24,588,896
→営業利益(△損失)	1,944,053	△80,253	208	1,864,008

連結株主資本等変動計算書

第10期(2007年9月1日から2008年8月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
2007年8月31日残高	584,534	604,156	2,626,751	3,815,443	29,625	3,845,068
連結会計年度中の変動額						
新株の発行	1,116	1,116		2,232		2,232
剰余金の配当			△106,791	△106,791		△106,791
当期純利益			847,869	847,869		847,869
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)				—	37,757	37,757
連結会計年度中の変動額合計	1,116	1,116	741,078	743,310	37,757	781,068
2008年8月31日残高	585,650	605,272	3,367,829	4,558,752	67,383	4,626,136

貸借対照表(要旨)

科目	第9期 (2007年8月31日現在)	第10期 (2008年8月31日現在)
●資産の部		
流動資産	3,572,393	4,625,243
現金及び預金	2,454,135	3,587,300
売掛金	258,475	93,096
商品	480,991	604,403
貯蔵品	3,906	1,664
前払費用	211,961	225,880
繰延税金資産	65,344	59,763
その他	97,578	53,205
貸倒引当金	—	△69
固定資産	2,023,422	1,798,960
有形固定資産	679,160	853,794
建物	438,414	592,949
構築物	7,856	29,167
車両運搬具	84,306	90,125
工具器具備品	102,680	80,008
建設仮勘定	45,901	61,544
無形固定資産	264,010	196,899
商標権	5,996	5,629
電話加入権	3,369	7,631
ソフトウェア	254,644	171,756
ソフトウェア仮勘定	—	11,881
投資その他の資産	1,080,251	748,266
関係会社株式	150,000	—
出資金	140	240
従業員長期貸付金	1,623	1,554
関係会社長期貸付金	565,135	—
長期前払費用	7,977	6,212
繰延税金資産	51,773	257,939
敷金・保証金	373,600	487,319
貸倒引当金	—	△5,000
投資損失引当金	△70,000	—
資産合計	5,595,815	6,424,204

(単位:千円)

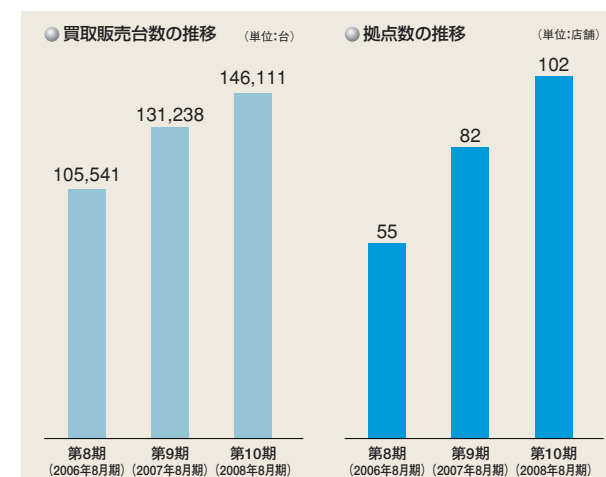
科目	第9期 (2007年8月31日現在)	第10期 (2008年8月31日現在)
●負債の部		
流動負債	1,417,926	1,395,906
買掛金	64,368	100,380
未払金	509,231	484,423
未払費用	115,110	169,542
未払法人税等	623,724	472,147
未払消費税等	69,440	84,033
前受金	2,352	21,349
預り金	33,403	62,955
その他	294	1,073
固定負債	30,515	268,958
長期未払金	28,915	12,264
関係会社損失引当金	—	255,775
その他	1,600	918
負債合計	1,448,441	1,664,865
●純資産の部		
株主資本	4,117,747	4,691,955
資本金	584,534	585,650
資本剰余金	604,156	605,272
利益剰余金	2,929,056	3,501,031
新株予約権	29,625	67,383
純資産合計	4,147,373	4,759,338
負債・純資産合計	5,595,815	6,424,204

損益計算書(要旨)

科目	第9期 (2006年9月1日から 2007年8月31日まで)	第10期 (2007年9月1日から 2008年8月31日まで)
売上高	20,035,959	23,925,796
売上原価	9,315,290	11,335,738
売上総利益	10,720,669	12,590,058
販売費及び一般管理費	8,880,871	10,407,495
営業利益	1,839,797	2,182,562
営業外収益	22,270	32,141
営業外費用	176	12,289
経常利益	1,861,891	2,202,414
特別利益	5,747	493
特別損失	81,084	939,129
税引前当期純利益	1,786,554	1,263,778
法人税・住民税及び事業税	810,000	785,596
法人税等調整額	△21,822	△200,584
当期純利益	998,376	678,766

(単位:千円)

■主要経営指標



株主資本等変動計算書 第10期 (2007年9月1日から2008年8月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		株主資本合計			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金				利益剰余金合計
2007年8月31日残高	584,534	604,156	604,156	13,250	1,230,000	1,685,806	2,929,056	4,117,747	29,625	4,147,373
事業年度中の変動額										
新株の発行	1,116	1,116	1,116					2,232		2,232
剰余金の配当						△106,791	△106,791	△106,791		△106,791
当期純利益						678,766	678,766	678,766		678,766
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										
事業年度中の変動額合計	1,116	1,116	1,116	—	—	571,975	571,975	574,207	37,757	611,964
2008年8月31日残高	585,650	605,272	605,272	13,250	1,230,000	2,257,781	3,501,031	4,691,955	67,383	4,759,338

会社概要 (2008年8月31日現在)

商号 株式会社アイケイコーポレーション
本社所在地 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
事業内容 オートバイの新しい流通システムを提案する「バイク買取専門店」の経営
設立 1998年9月(創業1994年9月)
資本金 585,650千円
連結従業員数 814名/平均年齢29.1歳

役員 (2008年11月27日現在)

取締役会長 石川 秋彦 常勤監査役 増淵 洋吉
代表取締役社長 加藤 義博 監査役 諏訪 浩
取締役副社長 大谷 真樹 監査役 長坂 忠宏
取締役 山縣 俊

株主メモ

事業年度 9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
定時株主総会の基準日 8月31日
剰余金の配当基準日 8月31日
期末配当 2月末日
中間配当 2月末日
株主名簿管理人 〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ 0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店
公告方法 当社ウェブサイト (http://www.ikco.co.jp/) もしくは日本経済新聞

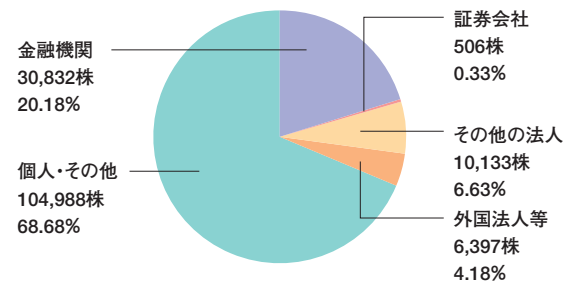
株式の状況 (2008年8月31日現在)

発行可能株式総数 312,088株
発行済株式数 152,856株
株主数 1,244名

大株主 (上位10名) (2008年8月31日現在)

株主名	持株数	議決権比率
石川秋彦	39,516 株	25.85%
加藤義博	35,556	23.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,887	9.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,899	6.48
有限会社ケイ	9,000	5.89
石川ゆかり	7,980	5.22
大谷真樹	3,150	2.06
加藤信子	2,940	1.92
日興シティ信託銀行株式会社(投資口)	2,179	1.43
稲井田安史	2,040	1.33

所有者別株式分布状況



ネットワーク (2008年10月1日現在)

- 本社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
- インフォメーションセンター 〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1-2 JA共済埼玉ビル2階
- 横浜物流センター 〒223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉5-22-41
- 筑波物流センター 〒305-0867 茨城県つくば市境田字長堀185-8
- さいたま物流センター 〒338-0836 埼玉県さいたま市桜区町谷4-1-1
- 名古屋物流センター 〒463-0045 愛知県名古屋市守山区菱池町14-16
- 大阪物流センター 〒571-0039 大阪府門真市速見町2-1
- 福岡物流センター 〒811-2205 福岡県糟屋郡志免町別府483-1

近畿エリア

バイク王 18店舗
バイク王 3事業地
バイク王 1店舗

中国エリア

バイク王 4店舗

九州エリア

バイク王 8店舗
バイク王 1店舗

沖縄エリア

バイク王 1店舗

四国エリア

バイク王 3店舗

北海道エリア

バイク王 3店舗

東北エリア

バイク王 4店舗
バイク王 1店舗

信越・北陸エリア

バイク王 3店舗

関東エリア

バイク王 38店舗
バイク王 101事業地

バイク王 1店舗
i-knew 1店舗

バイク王 3店舗
バイク王 1店舗

東海エリア

バイク王 9店舗
バイク王 1店舗

バイク王 1店舗